浦島太郎：童話から学ぶ教訓シリーズ

浦島太郎が、虐められている所を助けたカメに、竜宮城に連れてってもらい、竜宮城に居た乙姫などとパーティをして、玉手箱を貰い、浜へ帰り、玉手箱を開けると中から煙が吹き出て来て、その煙を浴びた浦島太郎は老人になったとさと言うお話しですが、痛いほど現代に通ずる教訓があると思ったのでご紹介したいと思います。

ズバリ、大事では無い事に時間を使い、いつの間にか時間が過ぎ去っていたと言う現象がよくありませんか？

やれスマホ、やれテレビ、やれYou tubeで時間を潰す事。あなたが潰していたと思っていた時間は実は、あなたの人生を潰していたと言うようなオチであった事を、老いて、取り返しが付かなくなった時に気が付くのです。

「大事な事に時間を割く事に執着せよ」と言うのは他の動画でも頻繁に述べさせて頂いておりますが、スマホやパソコンによって気が散る事が多い現代だからこそ、やはり定期的に口走る必要があると感じています。

「あなたにとって何が大事なのか？」と言う事を明確にし、そこから逆算して日々の行動を取るようにすれば、浦島太郎のように、気が付いたら…とならないで済むかもしれません。

Googleで「気が付いたら歳」と検索してみると、現代の浦島太郎たちの悲痛な叫び声がたくさん聞けるでしょうから、彼らの話に耳を傾けてみたらあなたの心に刺さるかもしれません。